

平成27年度 日本行政書士会連合会定時総会開催

日行連代議員 古川 正美

去る平成27年6月18日・19日の両日、東京都港区にある「シェラトン都ホテル東京」におきまして平成27年度の日本行政書士会連合会定時総会が開催されました。我が茨城会からは私を含め6名の代議員が出席しましたが、18日の会議の冒頭に行われた議長及び副議長の選出において、茨城会の代議員である嶋田広一副会長が議長に選出され、副議長には千葉会の原俊代議員が選出されました。今年度は役員改選の年ということもあり、代議員からの質問数も例年より少ないように思われましたが、嶋田議長の適切な采配により役員改選までの議案審議を時間どおりに終了させ、いよいよ第5号議案である役員の改選となりました。

役員改選ではまず会長の選出が行われ、既に立候補届を提出された3名の会員がそれぞれ立候補に当たり所信を述べ、続いて選挙を行いました。1回目の投票では3名とも過半数を超えられず、上位2名による決選投票という異例の事態となり、決選投票の末、佐賀会の遠田和夫会員が当選し、会長に選出されました。翌19日は会長以外の役員が選出され、日本行政書士会連合会の新執行部が誕生しました。

今年度から特定行政書士法定研修がスタートし、特定行政書士が誕生するというある意味節目の年でもあり、その舵取りを任された新執行部を全会員が一致団結して盛り立てていかなければならないとあらためて感じられた総会でした。

